

## 夢を目指す皆さんへ贈るメッセージ



山根 庸輔

鍼灸師と柔道整復師は、鍼灸院や接骨院を開くことができる開業権が与えられている国家資格です。さらに、柔道整復師は、医師の指示によらず施術ができる、医療系で唯一の資格です。自身の技術と知識を磨き続け、自らの考えで治療を行うことに魅力を感じる方にとっては、大きなメリットです。そして、勉強が苦手と感じる人は、身体や医療について“興味”を持つことから始めて下さい。勉強が身につく、やがて楽しくなり、自分らしく夢をかなえる一歩になります。

開業を志した理由は、自由に治療したいから。『勤務している、院の施術方針に左右されることあるが、開業すれば自らの考えで患者の苦痛を取り除くことができ、自身の技術を活かしながら地域社会に貢献することができ。』そう考えての、こだわりの開業です。開業後も、IGL時代の同期生や、志を同じくしている先生方と治療の勉強会も開催。メンバーは、このよ



うように、「来ていただいた患者様が少しでも元気になりますように」との思いを込めた、山根さんの治療院。痛みにより、行動や楽しみがしばらくれている患者さんの身体から、少しでもその痛みを取りのぞくため、自らの考えで、自らの知識・技術・経験を役立てる毎日です。

うな積み重ねが真の貢献につながる。と信じる、かけがえのない仲間です。現在は、治療院を訪れる野球選手をはじめ、スポーツ選手からお年寄りまで幅広く施術している山根さん。積み重ねた実績から、多くの患者様の健康を守っています。高校時代の夢を、自分らしい形で叶えました。



# 5

かっぱろん府中町鍼灸接骨院 院長

## 山根 庸輔さん

■鍼灸学科 2008年卒業 5期生

■柔整学科 2011年卒業 8期生

## 患者様が少しでも 元気になりますように。

IGL時代の同期生や、志を同じくしている先生方と治療の勉強会を開催。自己研鑽し、切磋琢磨することで、卒業後も技量向上に努める。

名門・県立広島工業高校野球部出身。卒業後の進路は、やはり、『野球に関わる仕事がしたい』と考えます。野球部のトレーナーに相談したところ、鍼灸師・柔道整復師の道があることを知り、IGLの鍼灸学科へ。高校時代は、言うまでもなく野球漬けの毎日。IGL1年生の前期は、高校時代とあまりにも違う勉強内容にまったくついていけず、まずは勉強する習慣づくりからのスタート。学びが進むにつれて、医学の知識を身に付けることが楽しくなり、興味があつて進んだ道なら、勉強する気になるものだ、自分自身の変化に驚きます。学びの難しさ、楽しさとともに、苦楽を共にすることで仲間の大切さも実感することができた学生生活。学生時代、大切にしてきた仲間は、今でも治療のことなど何でも相談できる、かけがえのない存在です。

自分の武器を増やすという考えで、鍼灸学科に続いて柔整学科に進学した山根さん。全身のコンディションや内臓疾患へのアプローチという鍼灸の領域に対し、急性のケガに対する整復や固定、その後のリハビリという柔整の領域。異なる性質の勉強をすることで、患者様にいろいろな方法で施術ができ、より良い結果を提供できるのではないかと考えました。

柔整学科卒業後すぐに、地元広島県府中町で、かっぱろん府中町鍼灸接骨院を開業。

「かっぱ」とは府中町の花「つばき」の別名。『府中町でご縁があります